

## 平成29年度事業実施報告

公益社団法人として6事業年度目となる平成29年度は、当協会の法人化30周年となる節目の年でもあり、産業廃棄物協会から産業資源循環協会へと名称を変更した記念すべき年度となりました。当協会はこの記念すべき1年、公益の一層の増進に向けて、本会の公益事業である産業廃棄物の適正処理推進事業や研修事業、さらには事業者の県民に対する普及啓発・情報提供事業を中心に各種事業を積極的に展開してきました。つきましては、産業廃棄物の適正処理と業界の社会的地位の確立を図るために実施した平成29年度の事業実績をここに報告します。

### I 【公益目的事業】

#### 1 適正処理推進事業

##### (1) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の普及啓発及び頒布

産業廃棄物の適正処理確保のため、廃棄物処理法で義務付けられている産業廃棄物管理票の普及啓発を推進する他、公益社団法人全国産業廃棄物連合会が作成した管理票を広く排出事業者や産業廃棄物処理業者等に頒布拡大を図った。平成29年度は、産業廃棄物マニフェスト129,300セット、建設系廃棄物マニフェスト255,500セットを頒布した。

##### (2) 排出事業者、処理業者、県民等に対する産業廃棄物に関する相談・指導

排出事業者、処理業者、県民等からの産業廃棄物に関する相談に指導・助言するとともに、排出事業者からの処理業者の問い合わせに対し、適正処理を行う会員処理業者等の紹介をするなど、約4,600件の適切な指導助言を行った。

##### (3) 産業廃棄物の適正処理等に関する調査研究

公益社団法人全国産業廃棄物連合会関東地域協議会と連携して、建設廃棄物処理・処分の実態調査を実施するとともに、下記の会議に出席した。

平成29年11月6日

第1回関東地域協議会 建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議（東京都）

平成30年2月14日

第2回関東地域協議会 建設廃棄物対策委員会及び実務担当者会議（東京都）

##### (4) 不法投棄・不適正処理防止対策の推進

栃木県と締結している「不法投棄等の情報提供に関する協定」に基づき、不法投棄等の監視を実施しているが、平成29年度の通報案件はなかった。また、県等が行う不法投棄防止キャンペーンに参加した。

##### (5) 災害廃棄物処理支援事業

栃木県と締結している「栃木県災害廃棄物等の処理応援に関する協定」に基づく関係機関からの災害廃棄物処理の要請はなかった。

#### 2 研修事業

##### (1) 産業廃棄物の適正処理に係る実務者研修

産業廃棄物の適正処理の推進及び産業廃棄物処理業者の資質向上を図るため、産業廃棄物

処理業者や排出事業者等の産業廃棄物を取り扱う実務担当者を対象に、産業廃棄物の適正処理に必要な基本的事項を中心とした研修会を2会場で開催した。

平成29年9月27日 コンセーレ（宇都宮市） 受講者 81名

平成29年9月28日 関東職業能力開発大学校（小山市） 受講者 43名

内容 ①廃棄物処理法の基礎知識、物の区分について

②改正廃棄物処理法について

～「雑品」、「親子会社」、「新措置命令」の新規定について～

講師 BUN環境課題研修事務所 長岡 文明 氏

## （2）産業廃棄物の適正処理に関する研修

栃木県、宇都宮市、公益財団法人栃木県環境保全公社等との共催により、排出事業者及び産業廃棄物処理業者を対象に、廃棄物処理法の解説及び廃棄物処理法に係る行政情報に関する講習会を実施した。

### ○廃棄物処理法施行令等改正に係る講習会

平成29年11月14日 栃木市文化会館（栃木市） 受講者 180名

平成29年11月15日 宇都宮市立南図書館（宇都宮市） 受講者 268名

平成29年11月21日 那須野が原ハーモニーホール（大田原市） 受講者 142名

内容 ①廃棄物処理法施行令等の改正内容について

②行政情報について

講師 ①栃木県環境森林部廃棄物対策課 職員

②栃木県環境森林部及び宇都宮市環境部 職員

### ○排出事業者における産業廃棄物の適正処理に関する講習会

平成30年1月17日 宇都宮市立南図書館（宇都宮市） 受講者 227名

内容 ①平成29年発出のチェックリストで排出者責任を確認してみよう

②行政情報について

講師 ①BUN環境課題研修事務所 長岡 文明 氏

②栃木県環境森林部及び宇都宮市環境部の職員

## （3）労働安全衛生に関する研修

事業所の自主的な安全衛生活動を促し、産業廃棄物処理業における労働災害の減少を図るための講習会を開催した。

平成30年2月15日 パルティ（宇都宮市） 受講者 37名

内容 「法令違反公表企業」事例の安全対策と廃棄物取扱い時の健康障害防止

講師 二階堂労働安全コンサルタント事務所 二階堂 久 氏

## （4）トップセミナー

産業廃棄物処理業の経営者層を対象に産業廃棄物処理における法的責任等に関する研修会を開催した。

平成29年10月4日 パルティ（宇都宮市） 受講者 32名

内容 職場におけるハラスメントの定義と対策

講師 宇都宮中央法律事務所 弁護士・弁理士 澤田 雄二 氏

### 3 普及啓発・情報提供事業

#### (1) 産業廃棄物処理施設に係る県民の理解促進

##### ○廃棄物処理施設に対する県民理解促進に係るイメージアップ研究会

廃棄物処理施設の重要性や安全性など正確な情報を発信するため、施設に対する県民の理解促進を図る各種事業について協議を行った。

平成29年 9月26日 栃木県庁会議室（宇都宮市） 参加者 9名

##### ○廃棄物処理施設見学バスツアー

循環型社会における廃棄物処理施設の重要性や安全性について理解と信頼を深めるため、公益財団法人栃木県環境保全公社、栃木県との共催により、県民を対象に廃棄物処理施設の見学会を開催した。

【Aコース】平成29年 8月 1日 参加者 39名

- ・カゴメ株式会社 那須工場（那須塩原市）
- ・那須高原リサイクルパーク株式会社（那須塩原市）

【Bコース】平成29年 8月 2日 参加者 27名

- ・株式会社アクトリー R&Dセンター（壬生町）
- ・メルテック株式会社（小山市）

##### ○廃棄物処理業者向けフォーラム

廃棄物処理業者自身が県民理解促進に対する意識向上を図ることを目的として、県内の産業廃棄物処理業者及び排出事業者等を対象にしたフォーラムを公益財団法人栃木県環境保全公社、栃木県との共催で開催した。

平成30年 2月21日 栃木県総合教育センター（宇都宮市） 参加者 58名

内容 「2018年廃棄物処理経営と将来予測」

～人口減少&廃棄物減少の下山時代に、経営者が取り組む事業戦略と人材戦略～

講師 株式会社船井総合研究所 環境スマートエネルギーグループ

グループマネージャー 貴船 隆宣 氏

##### ○廃棄物処理施設紹介動画

廃棄物処理施設をネットの動画で紹介する「廃棄物処理施設探検隊」のDVDを作成した。

#### (2) 協会だよりの発行（第61号～第72号）

廃棄物行政情報、産業廃棄物処理業界の実態や動向、協会の活動状況などについて、協会機関誌「協会だより」を毎月1回発行するとともにホームページにも掲載し、産業廃棄物行政や協会の活動状況等各種情報を提供した。

#### (3) ホームページの運営

排出事業者や処理業者等に産業廃棄物に関する最新の情報をより迅速に発信するとともに、協会の事業活動について情報提供を行った。

### 4 栃木県環境保全緊急対策基金事業

栃木県環境保全緊急対策基金からの執行はなかった。年度末の基金残高 約78百万円を足利銀行の決済用普通預金に預けている。

## II 【共益事業等】

### 1 組織強化事業

#### (1) 新規会員の加入促進による組織の強化

協会組織の充実強化を図るため、県内に事業所を有する協会未加入許可業者に対しパンフレットを配布する他、各種講習会等の場を活用して加入勧誘するなど、新規会員の加入促進に努めた。

#### ◆会員の動向（平成30年3月31日現在）

会員種類	平成28年度	平成29年度	（平成29年度内訳）	
			新規加入	退会
正会員	192社	193社	5社	4社
賛助会員	22社	23社	1社	0社
合計	214社	216社	6社	4社

#### (2) 会員名簿の作成・配布

1月に会員企業の最新の許可事項等の情報を取り纏めた名簿を作成し、会員及び関係機関に配布した。

### 2 意識啓発向上事業

#### (1) 表彰

産業廃棄物の適正処理に貢献し、県民の生活環境の保全に寄与した個人及び事業所の功労を讃え顕彰するため、当協会の各種表彰並びに行政及び上部団体への推薦を行った。

①協会会長表彰	協会功労者	1名
	優良事業所	7社
	永年勤続者	4名
	優良従事者	18名
②法人化30周年記念表彰	永年会員	64社
	永年役員	2名
③公益社団法人全国産業廃棄物連合会会長表彰	功労者	1名
	地方優良事業所	7社
	優良従事者	7名
④栃木県公衆衛生大会 知事表彰	保健衛生事業功労者	1名
	大会長表彰	保健衛生事業功労者 1名
⑤循環型社会形成推進功労者等大臣表彰	産業廃棄物関係事業功労者表彰	1名

#### (2) 優良産業廃棄物処理施設等の視察研修

産業廃棄物処理施設の最新の情報等を収集するため、県外処理施設の視察研修を実施した。

平成29年10月26日～27日 参加者 17名

- ・株式会社フジコーポレーション（長野県小諸市）
- ・イコールゼロ株式会社（長野県長野市）

### (3) 反社会的勢力排除のための研修会

産業廃棄物処理業界から反社会的勢力を排除するため、最近の暴力団情勢や産業廃棄物処理業界における暴力団排除対策の必要性などについて、研修会を開催した。

平成29年9月19日 パルティ（宇都宮市） 受講者 50名

内容 ①暴力団の現状と対策について

②反社会的勢力による不当要求対応要領について

講師 ①栃木県警察本部 刑事部組織犯罪対策第一課 職員

②公益財団法人栃木県暴力追放県民センター 職員

### (4) B C P短期策定ワークショップ

栃木県との共催により、B C P策定の講演と各社の実態に合わせたB C Pを策定するためのワークショップを開催した。

平成29年9月11日 栃木県庁会議室（宇都宮市） 参加者 17名

内容 ①栃木県におけるB C P策定の必要性

②策定ワークショップ

講師 東京海上日動火災保険株式会社 栃木支店

業務グループ課長兼業務品質部企画グループ参事 佐藤 勝美 氏

### (5) 産廃手帳の配布

12月に公益社団法人全国産業廃棄物連合会が発行する平成30年版手帳を購入し、希望会員に配布した。

### (6) 行政等からの情報伝達

行政や関係団体からの法改正や指導通知等を会員に送付し、周知徹底を図るとともに、協会ホームページにおいても、法改正や会員情報等の充実を図りながら最新情報を迅速に発信し、会員の資質向上及び適正処理の推進に努めた。

### (7) 許可更新の通知

会員の産業廃棄物処理業許可の期限切れを防止するため、対象会員に対し処理業許可の更新の通知を行った。

## 3 他団体との交流・協力事業

### (1) 行政との意見交換会

産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進を図るため、協会員に行政への意見・要望をアンケートした結果を踏まえ、栃木県、宇都宮市の産業廃棄物行政の現状や課題等について、栃木県及び宇都宮市の担当課長や担当職員等と当協会理事による意見交換会を実施した。

平成29年7月12日 ニューみくら（宇都宮市） 出席者 24名

内容 ①要望事項

- ・LEDライトや太陽光パネルの処分及び廃棄物処理法上の取扱いについて
- ・産業廃棄物の木くず・紙くず・繊維くず（衣類）の処理について
- ・行政の支援体制の充実と、排出者と処理業者の関係改善について

②馬頭処分場の事業の現状と今後のスケジュールについて

### (2) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会等が実施する行事等への参加

公益社団法人全国産業廃棄物連合会や栃木県等が実施する諸会議や各種事業に積極的に参加し、産業廃棄物に関する諸課題などについて相互理解を深め、情報の収集や提供など行政や関係団体との連携を図った。

### (3) 許可申請に関する講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターと連携を図りながら「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（新規及び更新）」について栃木県会場の運営にあたった。

#### ①（新規）収集・運搬課程

平成29年 8月30日～31日	コンセーレ	受講者 151名
-----------------	-------	----------

#### ②（新規）特別管理産業廃棄物収集・運搬課程

平成29年 7月5日～7日	コンセーレ	受講者 70名
---------------	-------	---------

#### ③（更新）収集・運搬課程

平成29年 6月2日	コンセーレ	受講者 155名
------------	-------	----------

平成29年 8月3日～4日	コンセーレ	受講者 48名
---------------	-------	---------

平成29年 9月1日	コンセーレ	受講者 125名
------------	-------	----------

平成30年 1月31日	コンセーレ	受講者 74名
-------------	-------	---------

#### ④（更新）処分課程

平成29年 8月3日～4日	コンセーレ	受講者 84名
---------------	-------	---------

### (4) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターと連携を図りながら「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」について栃木県会場の運営にあたった。

平成29年 6月1日	コンセーレ	受講者 101名
------------	-------	----------

平成30年 1月30日	コンセーレ	受講者 144名
-------------	-------	----------

## 4 栃木県環境保全対策基金事業

栃木県環境保全対策基金は、昭和63年から3ヵ年計画で造成を開始し、平成30年3月31日現在、受取利息を含めて約425百万円を造成することができた。なお、基金は足利銀行及びみずほ銀行の普通預金（決済用預金）で管理している。

## Ⅲ【管理事業】

### 1 総会・理事会等の開催

産業廃棄物処理業界の社会的地位と発展を図るため、以下の会議等を通じて、組織の活性化を図った。

#### (1) 定時社員総会（法人化30周年記念式典を併せて開催）

平成29年5月24日に第6回定時社員総会を会員174名（委任状出席を含む）の参加により宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて開催し、平成28年度事業実施報告及び決算報告、定款の一部変更、役員報酬等及び費用に関する規程の一部改定について、それぞれ審議のうえ原案のとおり決議された。

#### (2) 理事会

年6回開催し、総会で議決した事業計画に基づく事項等の執行について、審議、決定した。

(3) 三役会

年6回開催し、理事会で審議する事項等について協議を行った。

(4) 委員会

産業廃棄物の適正処理の推進と産業廃棄物処理業の社会的地位の確立を図るため、産業廃棄物処理に関する動向や諸課題を把握し、事業展開の方向性、情報の共有化等に向けて検討を行った。

- ・ 適正処理・調査研究委員会
- ・ 研修委員会
- ・ 普及啓発・情報委員会
- ・ 相談指導委員会

(5) 交流会

平成30年1月25日に宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、会員相互の交流親睦や情報交換を行うため、協会員、栃木県及び宇都宮市の環境行政や議会議員、関係団体など129名が集い、新年賀詞交歓会を開催した。

(6) 栃木県日光杉並木街道保護基金への寄附

日光杉並木街道の保護のため、設置者である栃木県に10万円の寄附を行った。

(7) スポーツ振興への支援

自転車の安全運転など地域社会貢献活動を行っているプロレーシングチームである宇都宮BLITZENに対し、10万8千円の協賛を行った。

(8) 法人化30周年記念植樹

法人化30周年記念事業として、県等が県内4か所において実施する緑化活動「地域で『みどり』のおもてなし事業」のための苗木を寄贈するとともに植樹会に参加した。

○県北地区

- ・ 植樹場所：那須町愛宕前（あたごまえ）県有地
- ・ 植樹会開催日：平成29年11月9日（木）
- ・ 寄贈品：アジサイ苗木 50本

○県西地区

- ・ 植樹場所：鹿沼市自然体験交流センター
- ・ 植樹会開催日：平成29年11月19日（日）
- ・ 寄贈品：サクラ苗木 5本、イチョウ苗木 5本、ナツツバキ苗木 5本、ユズ苗木 4本

○県南地区

- ・ 植樹場所：栃木市太平山県立自然公園内あじさい坂
- ・ 植樹会開催日：平成30年2月1日（木）
- ・ 寄贈品：アジサイ苗木 19本

○県東地区

- ・ 植樹場所：益子国民休養地（益子の森）ひだまり広場
- ・ 植樹会開催日：平成30年2月21日（水）
- ・ 寄贈品：ヤマザクラ苗木 5本、ソメイヨシノ苗木 5本、シダレザクラ苗木 5本